

I. はじめに.....	3
1. 特長.....	3
II. 注意.....	6
III. メニュー別の操作説明.....	6
1. コピー.....	6
1.1. Disc To Disc.....	6
1.2. USB To Disc.....	7
1.3. USB To USB (Media Maven Plus のみ対応).....	8
2. テスト.....	8
3. コピー+ベリファイ.....	8
4. コピー+コンペアー.....	9
5. ベリファイ.....	9
6. コンペアー.....	9
7. コピースピード設定.....	10
8. ソース選択.....	10
9. トラック編集.....	11
9.1. ラックをコピー.....	11
9.2. ファイナライズ.....	12
9.3. ディスク情報.....	12
10. ユーティリティ.....	12
10.1. プリスキャン.....	12
10.2. クイック削除.....	12
10.3. 完全削除.....	13
10.4. 全てを排出.....	13
10.5. ディスク情報.....	13
10.6. ドライブ情報.....	13
10.7. システム情報.....	14
10.8. システムアップデート.....	14
11.5. スタート時の排出.....	16
11.6. 読み取りスピード.....	16

11.7.	コンパースピード.....	17
11.8.	スキップリードエラー.....	17
11.10.	クリアセットアップ.....	17
11.11.	アドバンスドセットアップ.....	18
12.	イメージ管理.....	22
12.1.	イメージ選択	22
12.2.	Disc => Image	22
12.3.	イメージ情報	22
12.4.	イメージの名前変更.....	23
12.5.	イメージ削除	23
12.6.	HDD 情報.....	23
12.7.	HDD フォーマット	23
12.8.	HDD セットアップ	24
IV.	FAQ.....	25

1. はじめに

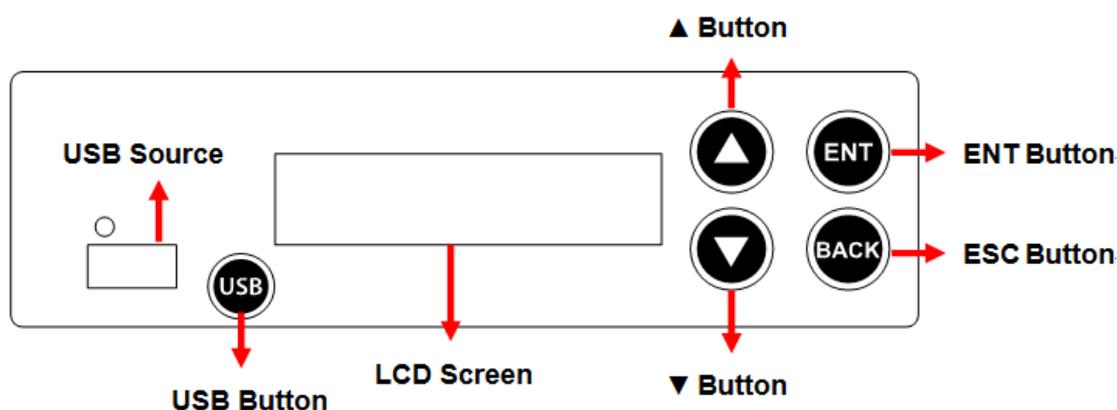
Media Maven / Media Maven Plus デュプリケーターは、PC 不要のスタンドアロンモデル。分かりやすい 5 コントロールボタン、ワンタッチでコピーできる。1 つのディスク・USB メモリーから、最大 11 枚の光学ディスクに同時コピーが可能。

1. 特長

- 従来より高速な Serial ATA (SATA) インターフェース
- 分かりやすい 5 コントロールボタン
- USB メモリーから光学ディスクへのコピー
- 光学ディスクから光学ディスクへのコピー
- USB メモリーから USB メモリーへのコピー

2. コントロールパネル

Media Maven :



▲上ボタン：メニューで上に移動する。

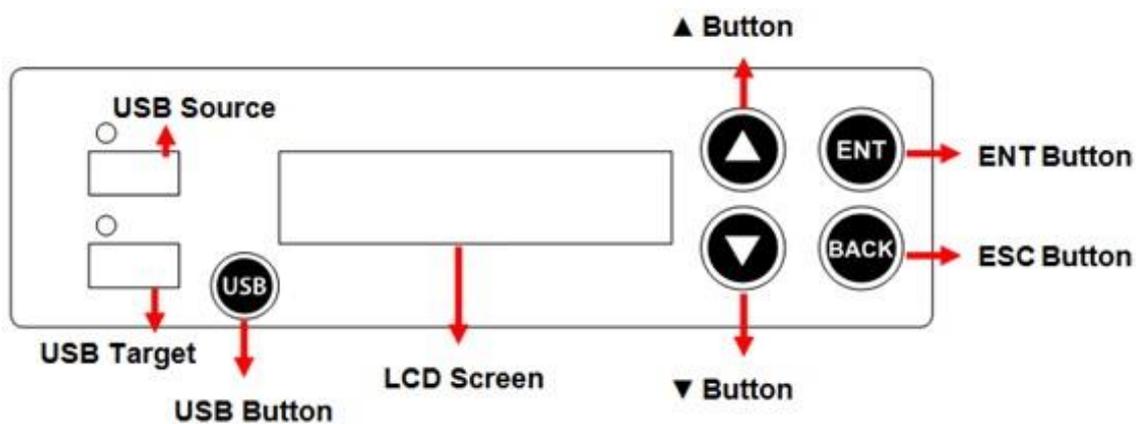
▼下ボタン：メニューで下に移動する。

ENT 決定ボタン：選択した内容を決定し、次の画面に進む。

ESC キャンセルボタン：選択した内容をキャンセルし、前の画面に戻る。

USB ボタン：ワンタッチで USB メモリーからディスクにコピーできる。

Media Maven Plus :



▲上ボタン：メニューで上に移動する。

▼下ボタン：メニューで下に移動する。

ENT 決定ボタン：選択した内容を決定し、次の画面に進む。

ESC キャンセルボタン：選択した内容をキャンセルし、前の画面に戻る。

USB ボタン：ワンタッチで USB メモリーからディスクにコピーできる。

3. 仕様

品名	Media Maven / Media Maven Plus デュプリケーター
ターゲット	Media Maven : up to 11 target Media Maven PLUS : up to 10
オプション タイプ	スタンドアロン (PC との接続不要)
対応ディスク	BD-ROM, BD-R, BD-R DL, BD-RE, DL DVD-ROM, DVD ROM, DVD-R, DVD-RW, DVD+R, DVD+RW, CD-DA, CD ROM, CD-R, CD-RW, Multi-session Photo CDT, CD-I, Video CD, CD ROM XA, & CD Extra (CD Plus)
対応 USB	USB デバイス 1.0/2.0/3.0/3.1/3.2
操作インターフェース	5 コントロールボタン
光学ディスクのコピー速度	BD-R SL:12X, BD-R DL:12X, BD-RE SL:2X, BD-RE DL:2X, DVD-R: 24X, DVD+R: 24X, DVD-RW: 6X, DVD+RW: 8X, DVD+R DL: 8X, DVD-R DL: 8X, CD-RW:40X, CD-R: 52X (実際の速度はデバイスによる)
USB のコピー速度	2GB/分
対応ファイルシステム フォーマット (USB To USB)	Windows : FAT16/32, exFAT, NTFS Linux : ext2/3/4 macOS : HFS, HFS+, HFSX
対応ファイルシステム フォーマット (USB To Disc、Disc To USB)	FAT16, FAT32, exFAT
光学ディスク容量	12cm 4.7GB DVD-R/RW, 12cm 4.7GB DVD+R/RW, 12cm 8.5GB DVD+R DL, 12cm 8.5GB DVD-R DL, 12cm 80min / 700MB CD-R, 12cm 74min / 650MB CD-RW, 8cm 1.47GB mini DVD-R, 8cm 24min / 210MB mini CD-R, 8cm 50MB Business Card CD-R
電圧	115V・230V 切り替え可能

II. 注意

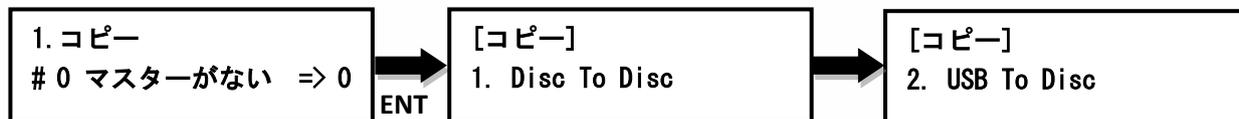
1. 処理途中、表示ランプは緑色に等間隔で点滅し続けます。処理完了後、表示ランプは緑色に点灯します。処理が失敗した場合、表示ランプは赤色に点灯します。
2. 処理途中、ESC ボタンを長押しすると、強制終了します。
3. デバイスと本機の破損を防ぐため、処理途中にデバイスを削除・交換しないでください。
4. コピー機能を利用する場合、ターゲットデバイスの容量はマスターデバイスと同じ、またはマスターデバイスより多い容量確保を推奨します。
5. データを守るために、マスターポートには消去機能はありません。

III. メニュー別の操作説明

1. コピー

①Disc To Disc ②USB To Disc ④USB To USB 3つのコピーモードを選択できます。

(④は Media Maven Plus のみ対応)



1.1. Disc To Disc

ディスクからディスクにコピーします。

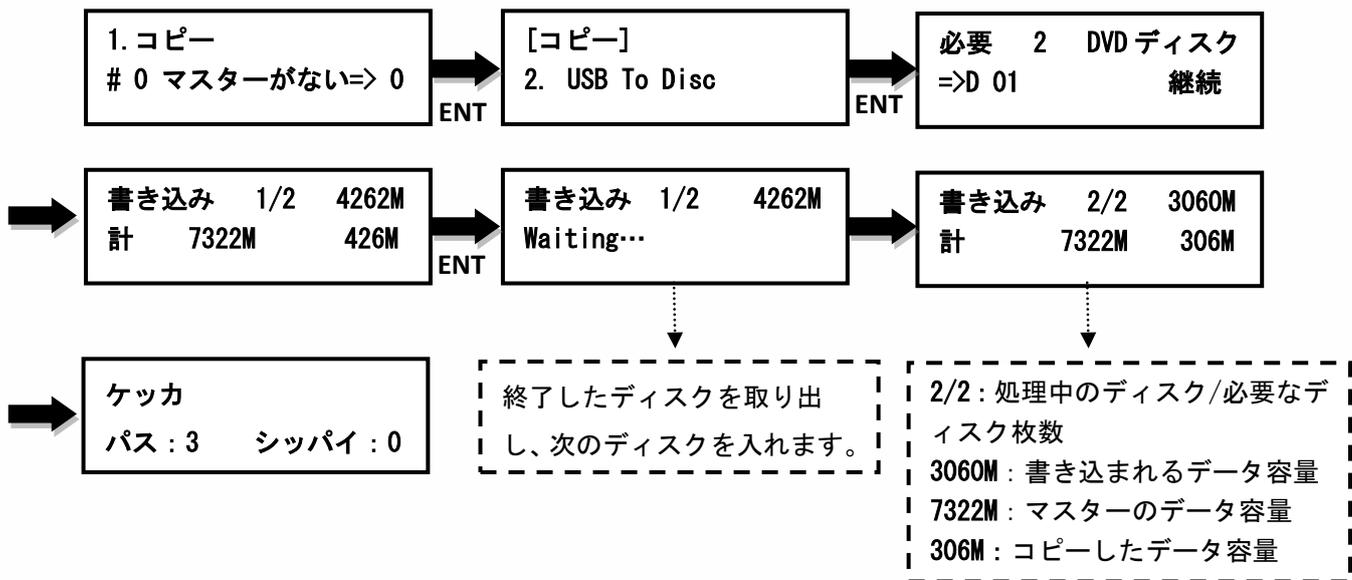


1.2. USB To Disc

大容量のフラッシュデバイスから比較的小容量の光学ディスクへコピーする場合、独自のディスクパニング機能を通じて、自動的に容量サイズに応じた数枚のディスクに分割してコピーします。注意：フラッシュデバイスのシステムファイルフォーマットは FAT16/ 32・exFAT のみに対応。

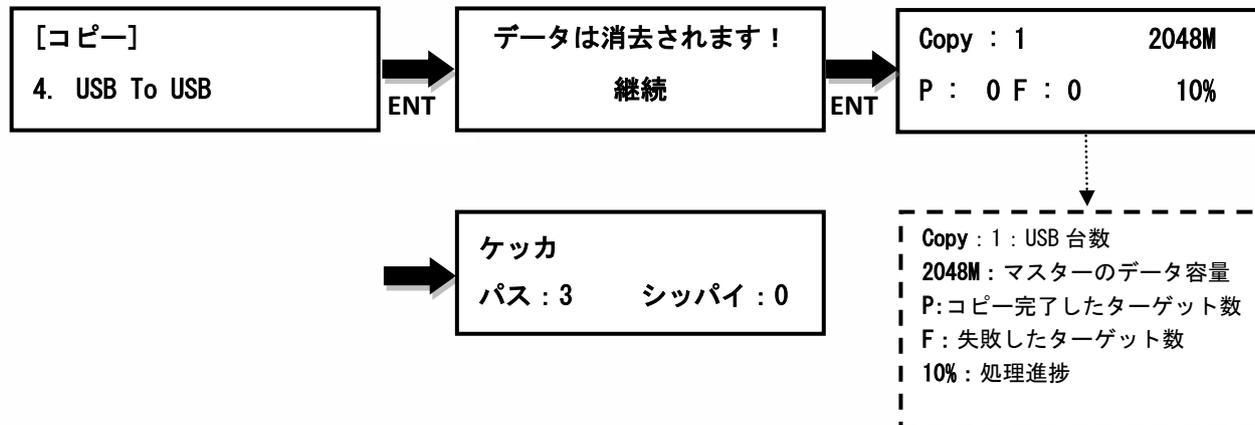
例：

7322MB のデータがあるフラッシュデバイスから 2 枚の光学ディスクにコピー。この場合、自動的にデータサイズに応じた必要なディスク数を計算し、コピーを実行する。1 枚目のディスクの書き込みが終了したら、自動でトレイがオープンし、次のディスクを入れてトレイを閉じ、ENT ボタンを押すと、コピーが実行され続けます。



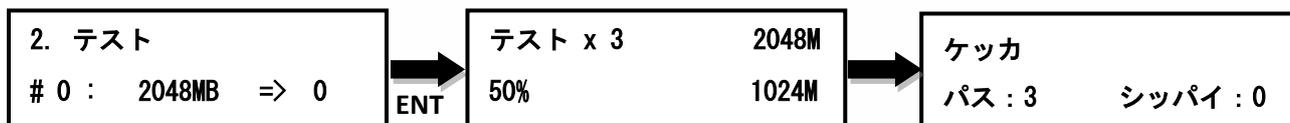
1.3. USB To USB (Media Maven Plus のみ対応)

Windows: FAT16/32, exFAT, NTFS・Linux: ext2/3/4・macOS: HFS, HFS+, HFSX に対応、有効データのみをコピーする。注意：ターゲット USB の元のデータは消去される。



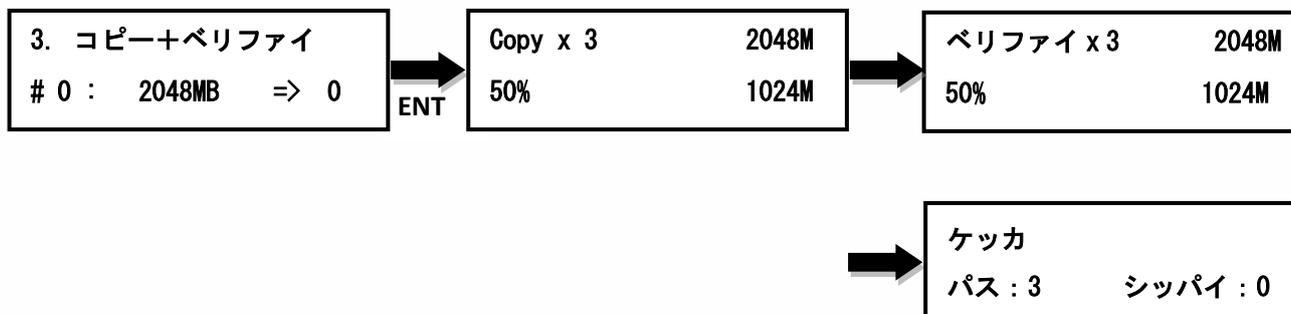
2. テスト

ターゲットディスクが記録可能ではないか確認するために、擬似コピー後に問題なければコピーを行います。注意：本機能は BD-R・DVD-R・CD-R に対応。



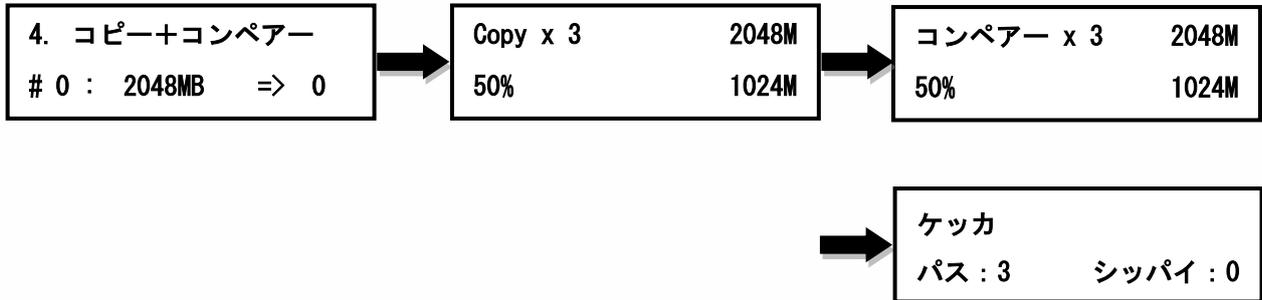
3. コピー+ベリファイ

コピー完了した後、自動的にターゲットディスクに記録されたデータをチェックします。注意：本機能は、マスターとターゲットとの記録内容を比較されなく、ターゲットの読み取り検査を行います。オーディオ CD の検査に適します。



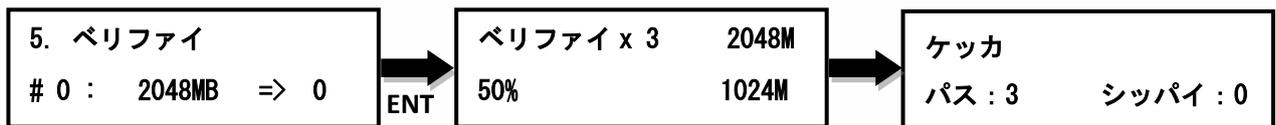
4. コピー+コンペアー

コピー作業に続き、自動でコンペアーが行われます。マスターディスクとその他のターゲットディスクの記録内容を比較します。注意：オーディオ CD に対応できない。



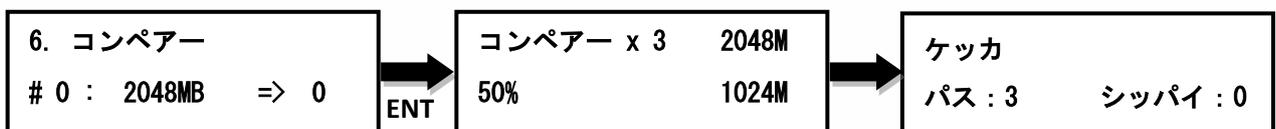
5. ベリファイ

ターゲットディスクの読み取り検査を行います。オーディオ CDの検査に適します。



6. コンペアー

マスターディスク / ビデオディスクの検査に適します。ディスクとその他のターゲットディスクの記録内容を比較する。ブルーレイ / DVD / データディスク / ビデオ CDの検査に適します。



7. コピースピード設定

各ディスクのコピー速度を設定可能。CD（テータディスク / ビデオディスク）・オーディオディスク・DVD・DVD+R DL・ブルーレイ（BD-RSL / BD-R DL / BD-RE SL / and BD-RE DL）

設定可能な速度：

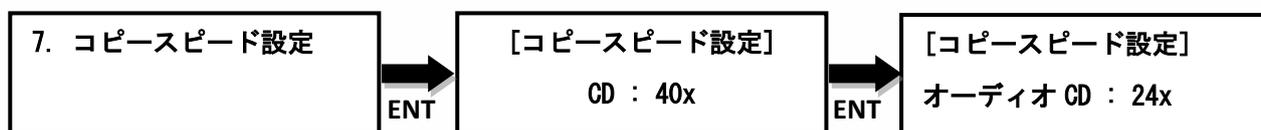
CD：1x, 2x, 4x, 8x, 10x, 12x, 16x, 20x, 24x, 32x, 36x, **40x (デフォルト)**, 44x, 48x, 50x, 52x, 56x, max。

オーディオ CD：1x, 2x, 4x, 8x, 10x, 12x, 16x, 20x, 24x, **32x (デフォルト)**, 36x, 40x, 44x, 48x, 50x, 52x, 56x, max。

DVD：1x, 2x, 2.4x, 4x, 6x, 8x, 12x, **16x (デフォルト)**, 18x, 20x, 24x, max。

DVD DL：1x, **2x (デフォルト)**, 2.4x, 4x, 6x, 8x, 12x, 16x, 18x, 20x, 24x, max。

ブルーレイ：1x, **2x (デフォルト)**, 4x, 6x, 8x, 10x, 12x, max。



8. ソース選択

本設定使用時は、ディスクトレイのいずれもマスタートレイとして設定可能です、選択できるマスター：

「**①ディスクトレイに**」（デフォルト設定）：一番上のディスクトレイをマスターに設定。

「**ハードディスクに**」：ハードディスクを配置している場合、ハードディスクをマスターに設定。

「**他のディスクとレイに**」：ディスクトレイのどれでもマスターに設定可能。

「**オート**」：自動的にマスターディスクを判別して処理を実行する。



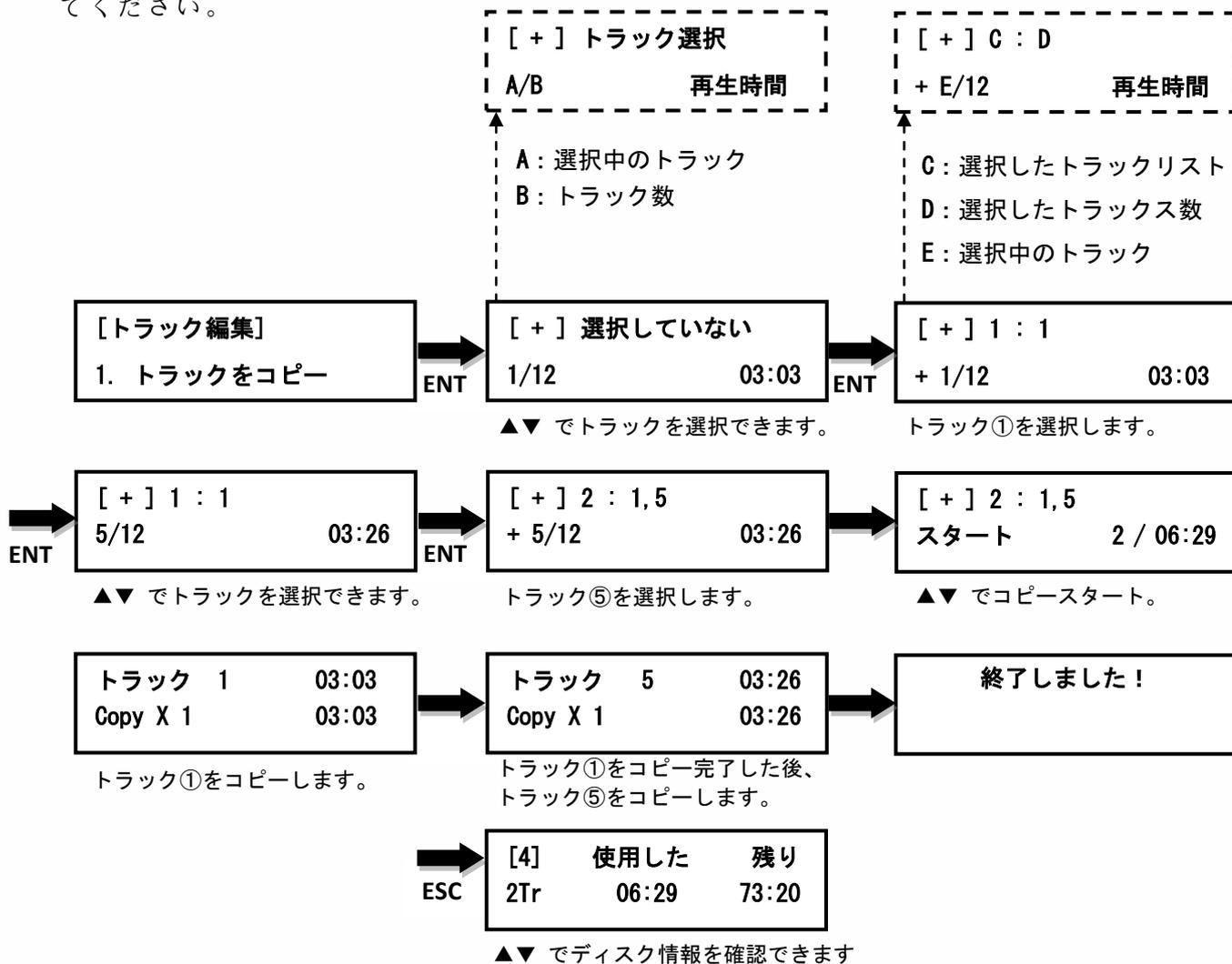
9. トラック編集

9.1. ラックをコピー

トラックを選択してターゲットディスクにコピーします。

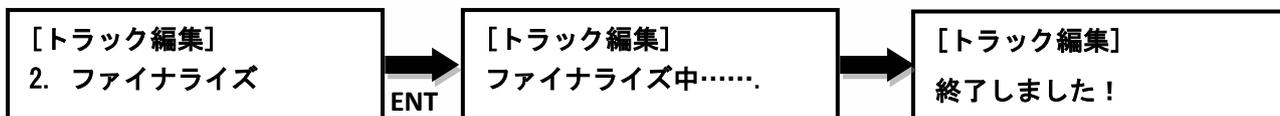
注意：

1. ターゲットディスクにはまだ空きスペースがあれば、再び本機能を実行することが可能。
2. ターゲットディスクには空きスペースがなかった場合、必ず 9.2 ファイナライズを実行してください。



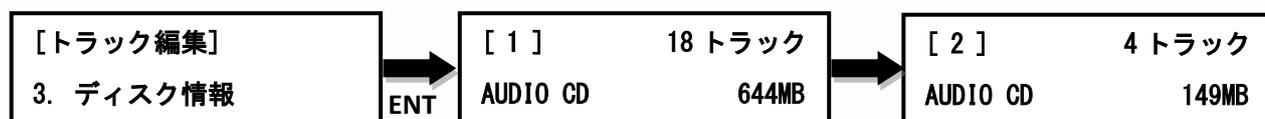
9.2. ファイナライズ

オーディオトラックコピー完了後、必ず本機能を実行し、読み込みできるディスクとして完成させる。



9.3. ディスク情報

選択したディスクの情報を表示します。



10. ユーティリティ

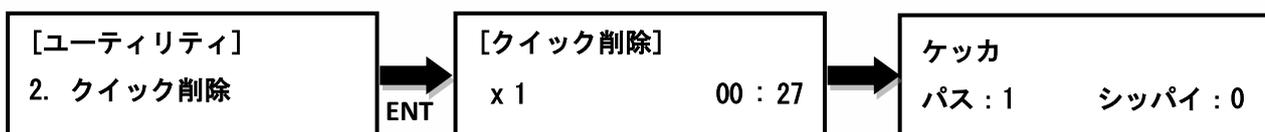
10.1. プリスキャン

コピーする前に、マスターディスクの品質をチェックします。



10.2. クイック削除

書き換えができる CD-RW に対して、クイック消去を実行します。注意：CD-R に対応できない。



10.3. 完全削除

書き換えができる CD-RW に対して、完全消去を実行します。注意：CD-R に対応できない。



10.4. 全てを排出

全てのディスクトレイを開きます。注意：メインメニューで ESC ボタンをダブルクリックすれば、全てのトレイが排出します。



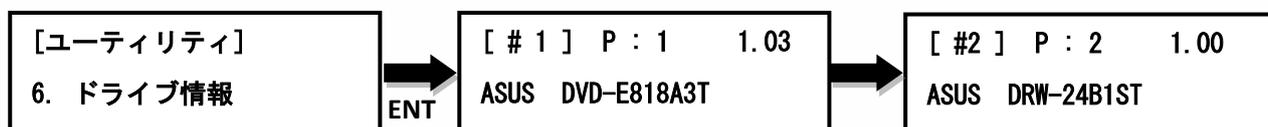
10.5. ディスク情報

USB・ディスクのメディア情報を確認できます。



10.6. ドライブ情報

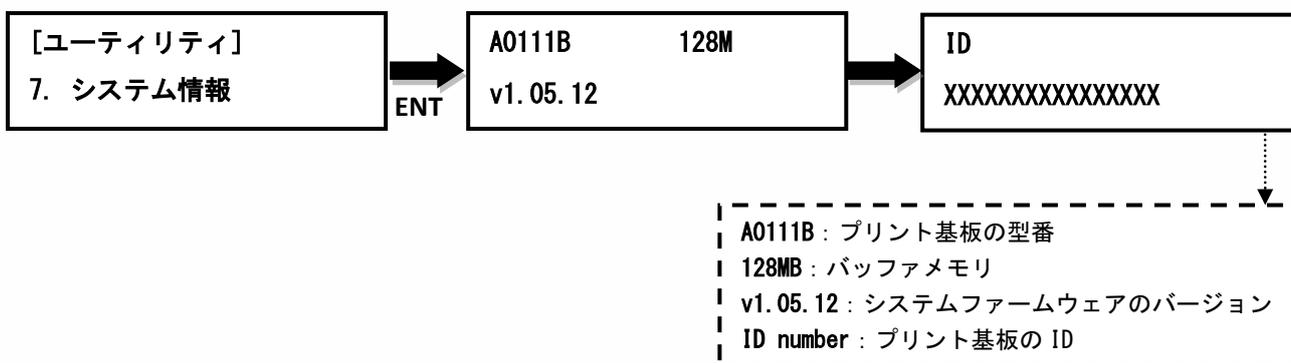
選択したデバイスの情報：ストレージの型名・商品番号・システムファームウェアのバージョンを確認することができます。



[# 2] : デバイス番号
P : 2 : ポート番号
1.03 : デバイスバージョン
ASUS : デバイスメーカー
DVD-E818A3T : デバイスの型番

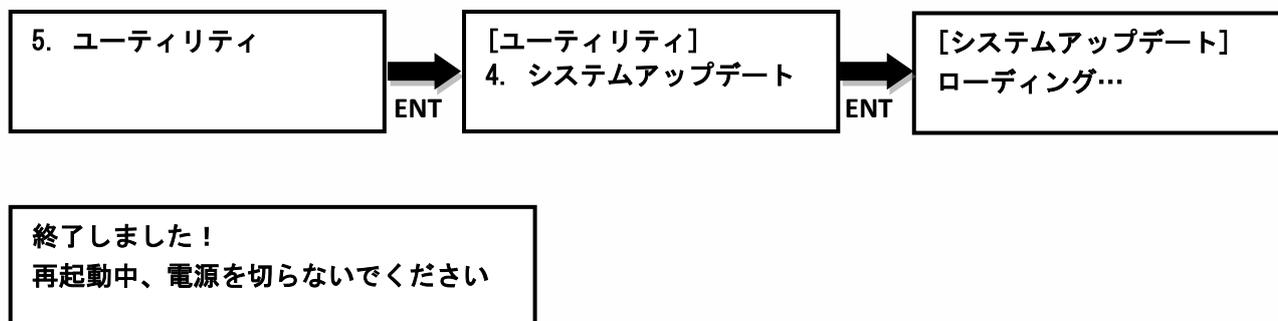
10.7. システム情報

本機のシステムファームウェアのバージョンを確認できる。



10.8. システムアップデート

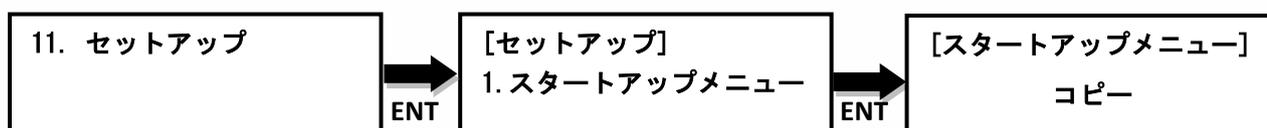
この機能で本機のシステムファームウェアのアップデートを行うことが可能。アップデート終了後には、自動的に再起動する。(アップデート中は絶対に電源を切らないでください。) アップデートを行う前に、弊社からアップデート用ファームウェアを取得し、解凍したファイルをマスターストレージのルートディレクトリに記録しておく必要があります(サブディレクトリに記録しないでください)。



11. セットアップ

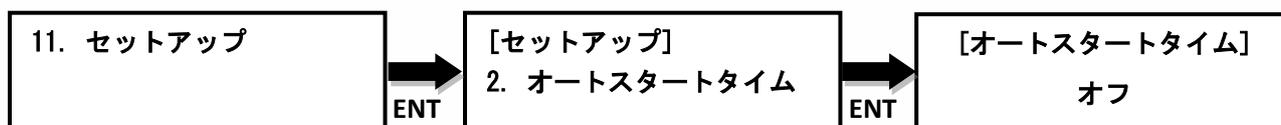
11.1. スタートアップメニュー

電源を入れた後に表示されるメニュー：①コピー ②テスト ③コピー&ベリファイ
④コピー&コンペアー ⑤ベリファイ ⑥コンペアー を設定可能。



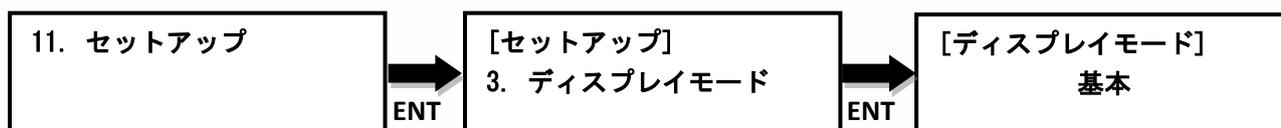
11.2. オートスタートタイム

最後のターゲットディスクを入れたら、何秒後に自動コピーを実行するかを設定できます。
(0～120秒、オフ)



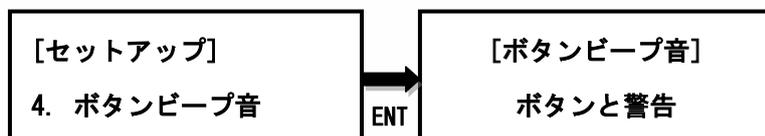
11.3. ディスプレイモード

- ①**基本**：マスターディスクのデータの全容量、又はコピー必要時間を表示します。
- ②**アドバンスド**：マスターのデータの全容量、コピー完了したデータの容量を表示します。
- ③**時間表示**：コピーの転送速度を表示します。
- ④**スピード表示**：コピーの経過時間を表示します。



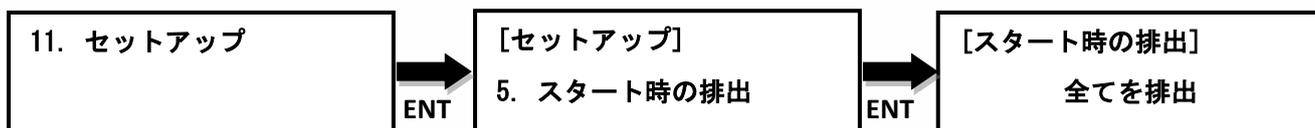
11.4. ボタンビープ音

ビープ音の有無を設定可能。①ボタン操作音と警告音 ②警告音のみ ③消音 この3つの選択肢がある。デフォルト設定は、[ボタン操作音と警告音](#)となります



11.5. スタート時の排出

電源を入れると、ディスクトレイが自動的に排出します。①全てのディスク排出 ②排出しません ③コピー先排出 ④コピー元排出 ⑤全てを排出 を設定できます。



11.6. 読み取りスピード

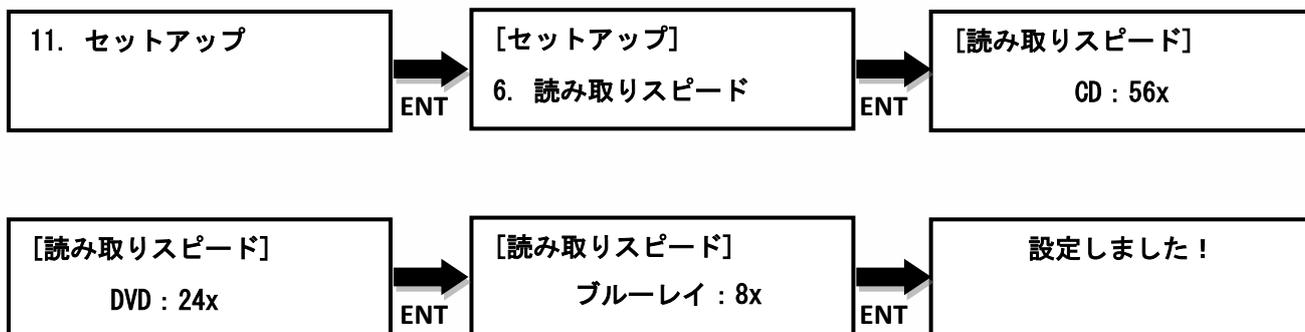
マスターディスクの読み取り速度を設定可能。

選択可能な速度：

CD：1x, 2x, 4x, 8x, 10x, 12x, 16x, 20x, 24x, 32x, 36x, 40x, 44x, 48x, 50x, 52x, [56x\(デフォルト\)](#), max。

DVD：1x, 2x, [2.4x](#), 4x, 6x, 8x, 12x, 16x, 18, x 20x, [24x\(デフォルト\)](#), max。

ブルーレイ：1x, 2x, 4x, 6x, [8x\(デフォルト\)](#), 10x, 12x, max。



11.7. コンペアースピード

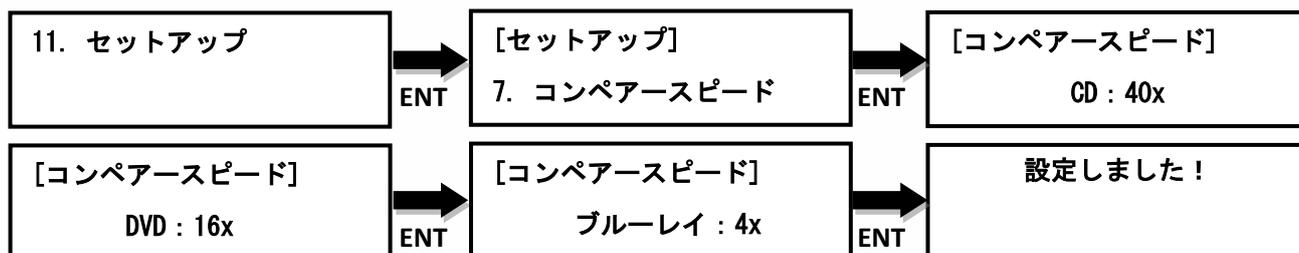
コンペアーの速度を設定可能。

選択可能な速度：

CD：1x, 2x, 4x, 8x, 10x, 12x, 16x, 20x, 24x, 32x, 36x, 40x(デフォルト), 44x, 48x, 50x, 52x, 56x, max。

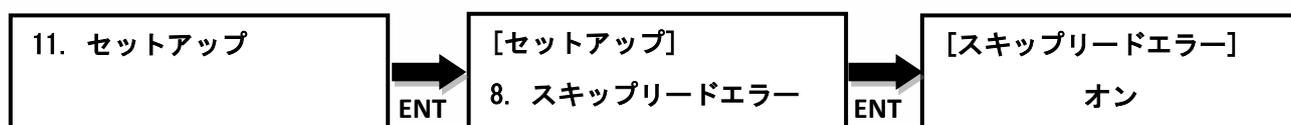
DVD：1x, 2x, 2.4x, 4x, 6x, 8x, 12x, 16x(デフォルト), 18x, 20x, 24x, max。

ブルーレイ：1x, 2x, 4x(デフォルト), 6x, 8x, 10x, 12x, max。



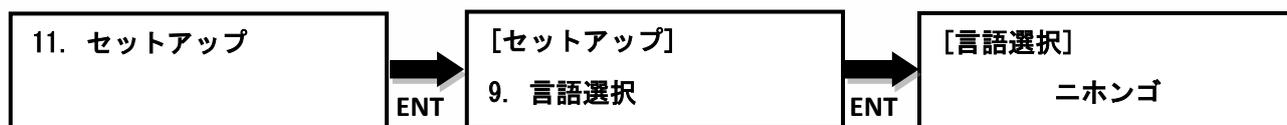
11.8. スキップリードエラー

マスターディスクの不良セクタを自動的にスキップします。



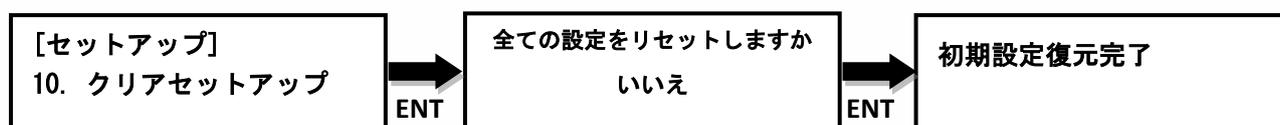
11.9. 言語選択

言語表示の設定。デフォルト設定は日本語となっている。



11.10. クリアセットアップ

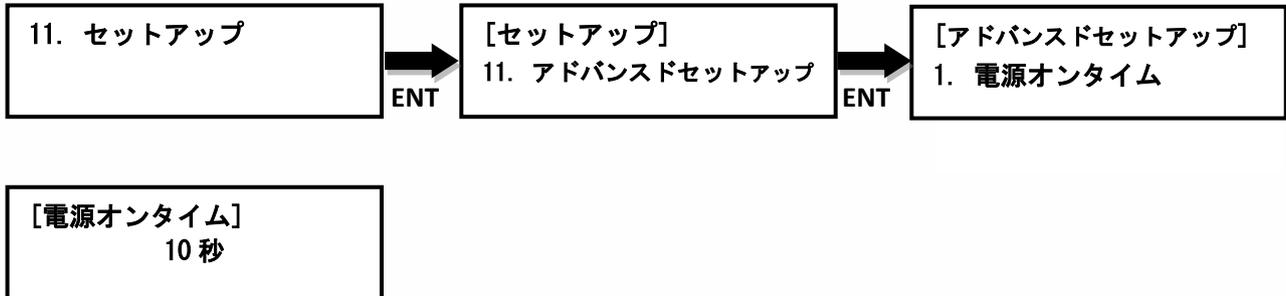
初期設定に復元します。注意：技術者の指示に従って実行する場合を除き、この機能を使用しないでください。



11.11. アドバンスドセットアップ

11.11.1. 電源オンタイム

電源入れた後、起動するまでの時間を 3～120 秒の間で設定できます。



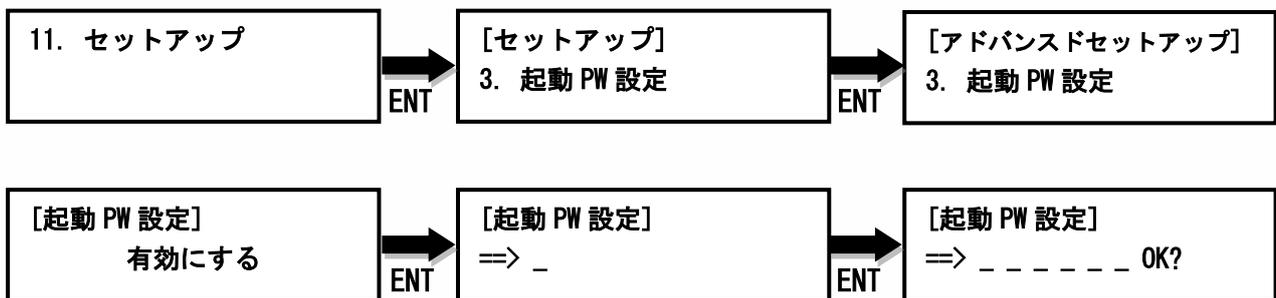
11.11.2. CD ウワコピー (CD オーバーバーン)

マスターの容量とターゲットのと同じである場合、CD オーバーバーンができます。



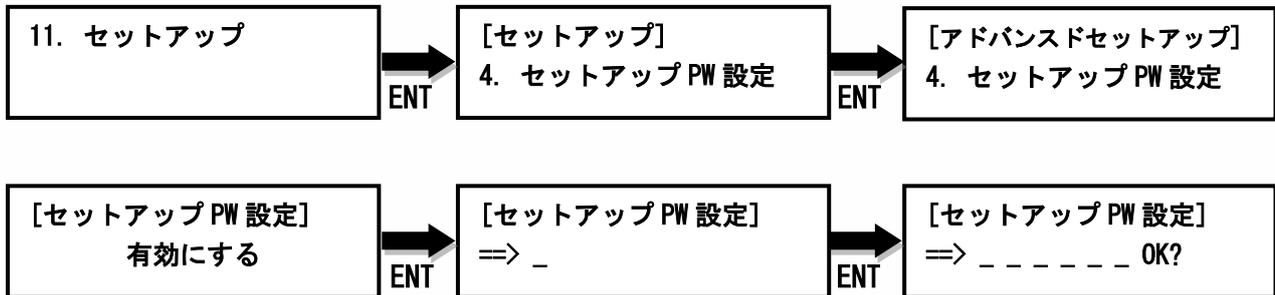
11.11.3. 起動 PW 設定

起動時の 6 桁のパスワードを設定可能。設定した後、再起動する必要があります。



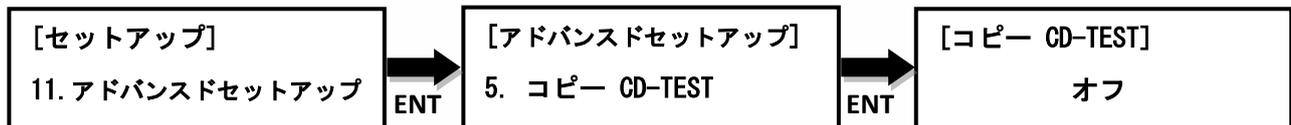
11.11.4. セットアップ PW 設定

セットアップ時の 6 桁のパスワードを設定可能。設定した後は、再起動が必要となる。



11.11.5. コピー CD-TEST

マスターディスクから CD-TEST をターゲットディスクにコピーします。



11.11.6. コピー CD UPC/ISRC

マスターディスクから CD UPC/ISRC をターゲットディスクにコピーします。



11.11.7. コピー CD+G

マスターディスクから CD+G をターゲットディスクにコピーします。



11.11.8. AUTO ERASE

書き換えができる CD-RW のデータを消去します。



11.11.9. Pre - Gap Scan

マスターディスクのプリギャップをターゲットにコピーします。設定を無効にすると、自動的に 2 秒空きます。



11.11.10. L0 Break Point

片面 2 層の DVD において、1 層目 (L0) と 2 層目 (L1) のレイヤーが切り替わる地点を設定できます。

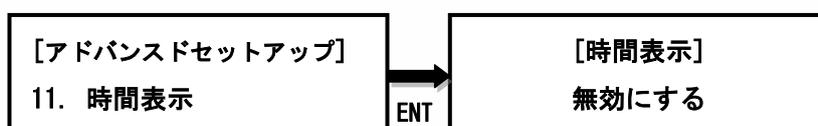
By Source : マスターディスクのブレイクポイントによって設定します。

Optimizator : 自動的にブレイクポイントを設定します。



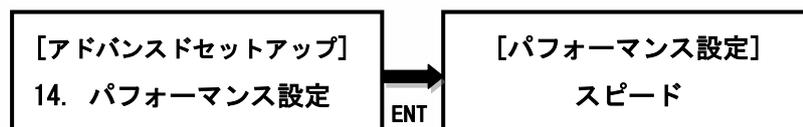
11.11.11. 時間表示

処理完了後、処理に掛かった時間を表示できる。デフォルト設定は、[有効](#)となっている。



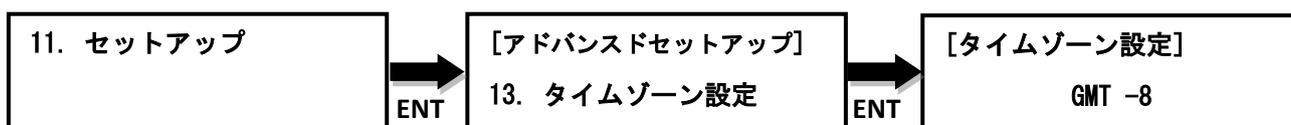
11.11.12. パフォーマンス設定

①スピードモード ②通常モード ③互換性モード に設定できる。①スピードモードは処理速度が速いが、一部のデバイスに対応しない可能性がある。②通常モードは処理速度と交換性のバランスを取った設定であり、対応できないデバイスは比較的少ない。③互換性モードは処理時間が長い代わりに、ほとんどのデバイスに対応する。 デフォルト設定は スピードモード となっている。



11.11.13. タイムゾーン設定

GMT タイムゾーンを設定可能。(GMT+13~GMT-12)



11.11.14. Show Image Name

イメージの名前を表示します。



11.11.15. Tray Reset

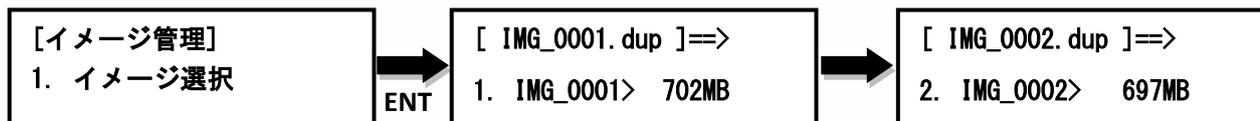
処理完了した後、光学ドライブの自動的に閉まる機能を防ぐため、150 秒に 1 回、トレイが自動的に出し入れます。

12. イメージ管理

本機能はハードディスクを設置したデュプリケーターに対応しています。設置していない場合、本機能はメニューに表示されません。

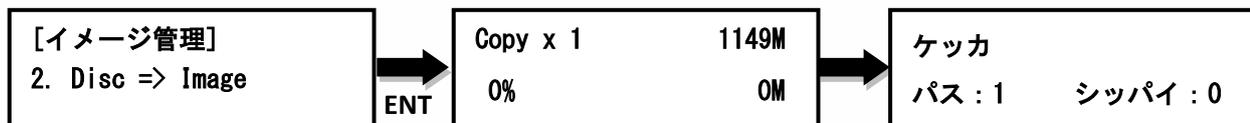
12.1. イメージ選択

ディスクのイメージを選択可能。



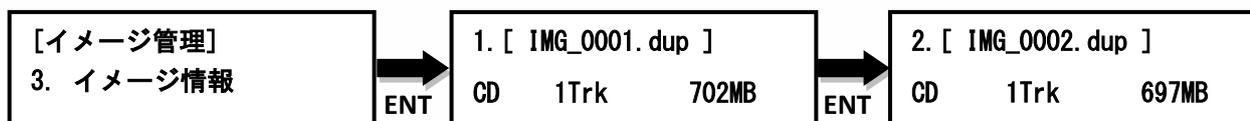
12.2. Disc => Image

ディスクのデータをイメージ化にして、ハードディスクで保存する。



12.3. イメージ情報

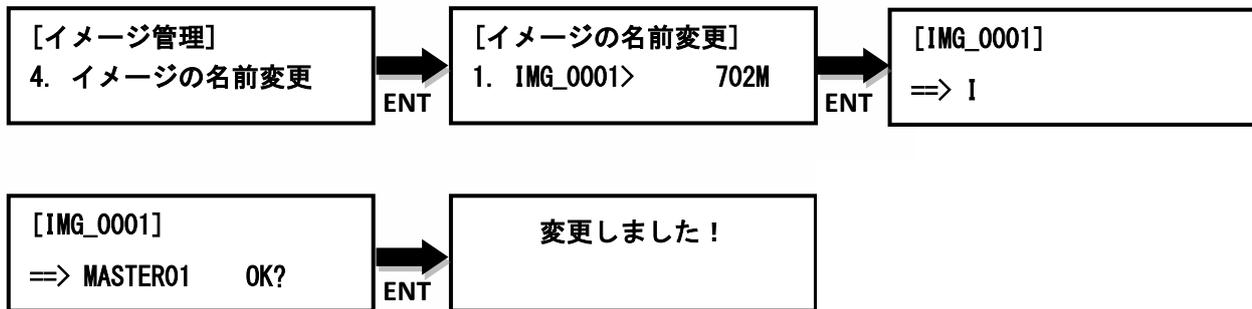
ディスクのイメージのタイプと容量を表示する。



[IMG_0002. dup] : イメージ名とフォーマット
 CD : イメージ種類
 1Trk : イメージのセッション数
 697MB : イメージ容量

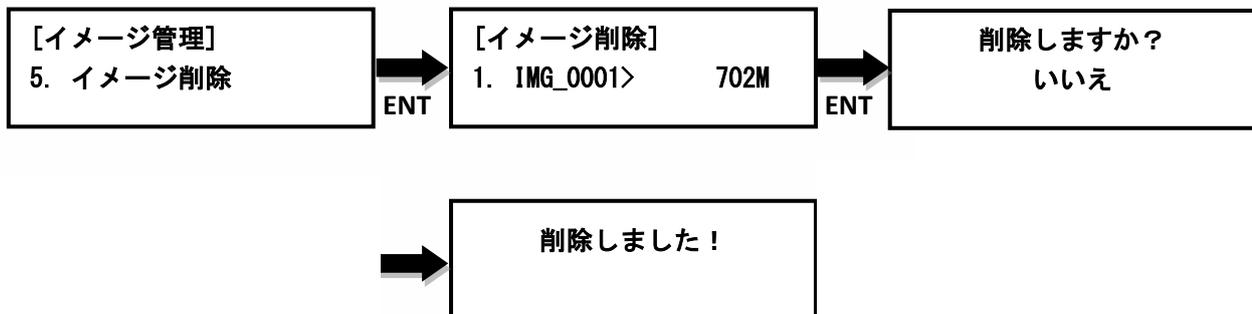
12.4. イメージの名前変更

最大 8 文字のイメージ名を変更可能。



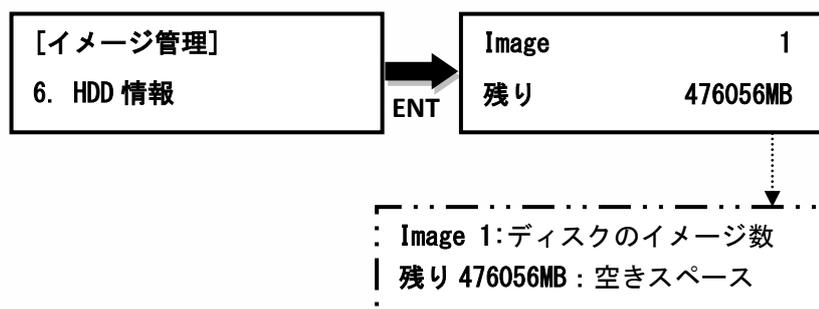
12.5. イメージ削除

イメージを削除可能。



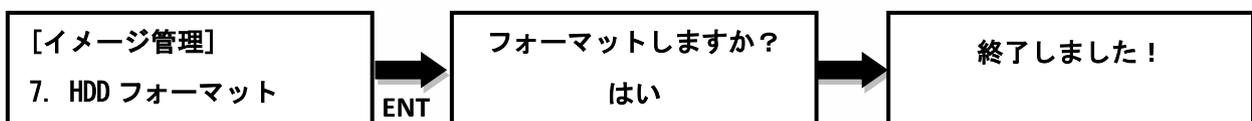
12.6. HDD 情報

ハードディスクの容量、イメージ数、空きスペースを表示します。



12.7. HDD フォーマット

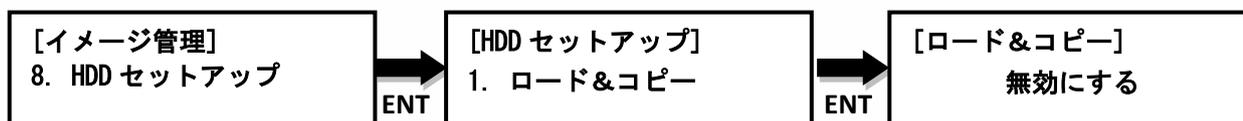
デバイスをフォーマットできます。注意: 全てのイメージが消去される。



12.8. HDD セットアップ

12.8.1. ロード&コピー

本機能はマスターディスクから、ターゲットディスクにコピーし、ハードディスクに保存する。
 ①無効にする ②同時に実行する ③ロードしてからコピーする



12.8.2. Failed Image

イメージが正しく認識されない場合、自動的にイメージを削除・保存する。

削除する：自動的に削除します。（デフォルト設定）

保存する：自動的に保存します。



12.8.3. Default Image

選択したイメージをデフォルト設定にする

①**イメージ選択（デフォルト）**

②**最初のイメージ**

③**最新のイメージ**



IV. FAQ

Q1：電源を入れても、デュプリケーターが起動しません。

1. コンセントの給電に異常がないことと、電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていることを確認ください。
2. 電圧は 110V・220V であることをご確認ください。
3. 電力ケーブルの劣化状態をご確認ください。

Q2：マスターディスクがデュプリケーターに認識されないのはなぜでしょうか？

1. 品質不良、破損の可能性があります。新しいマスターディスクに交換してください。
2. 他のディスクトレイをマスタートレイに設定し、テストしてください。
3. マスターディスクの ISO フォーマットを確認してください。

Q3:コピーが頻繁に失敗するのはなぜでしょうか？

1. ストレージデバイスの品質不良の可能性があります。他のストレージデバイスをお試しください。
2. パフォーマンス設定③交換性モードに設定してください。
3. システムファームウェアをアップデートしてください。

Q4：コピー中、デュプリケーターが停止し、反応がありません。

1. ESC ボタンを長押しして強制中止すると、メニューに戻ります。
2. ESC ボタンが反応しなかった場合、電源を切り、5 秒経った後再起動してください。
3. 品質不良のマスターディスクはコピー中にエラーを起こしやすいため、新しいマスターディスクに交換してください。

Q5 : ボタンを押しても反応がない。

1. 処理中、本マニュアルで言及されている機能を除き、ボタンは反応しません。
2. ボタン故障が考えられる際は、弊社にお問い合わせください。

Q6 : ディスクトレイが開かず、LED ランプが光らない

1. デュプリケーターの背面に USB ポートがある場合（別途販売機能）、電源を入れる前に、USB ポートのスイッチをオフにしてください。
2. ディスクがトレイの中から取り出せなかった場合、電源を切って、トレイ下にあるピンホールにクリップを挿入し、軽く押してください。その後、トレイの取り出しボタンを数回押して、トレイに問題がないことを確認してください

Q7: 空き CD/DVD/ブルーレイディスクがデュプリケーターに認識されない。

1. 該当ディスクを他のトレイに入れてみてください。
2. 他の空きディスクに交換してください。